



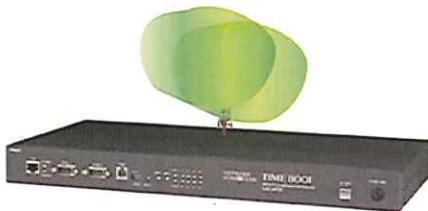
地球環境改善に取り組みましょう！
EA エコアクション21

省エネルギー・省資源・廃棄物削減

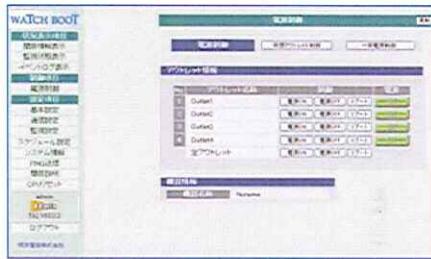
環境活動レポート

管理番号 MK-文-T03

期間 2011年10月～2012年9月



■電源制御・管理 WEB 画面



電源制御と管理にお役立てください。
大切な電気を守るリブーター。

明京電機株式会社

目次：

- 1 組織の概要
- 2 対象範囲
- 3 環境方針
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直しの結課

1. 組織の概要

(1) 事業所名および代表者

明京電機株式会社
代表取締役 山田 駿

(2) 所在地

東京都荒川区東尾久 4-27-2
電話：03-3810-5580
FAX：03-3810-5546

(3) 環境管理責任者および担当者

管理責任者 寺地辰己
連絡先 TEL：03-3810-5580
FAX：03-3810-5546
E-Mail：terachi@meikyo.co.jp
環境事務局 井上玲子
推進委員 石河 昇

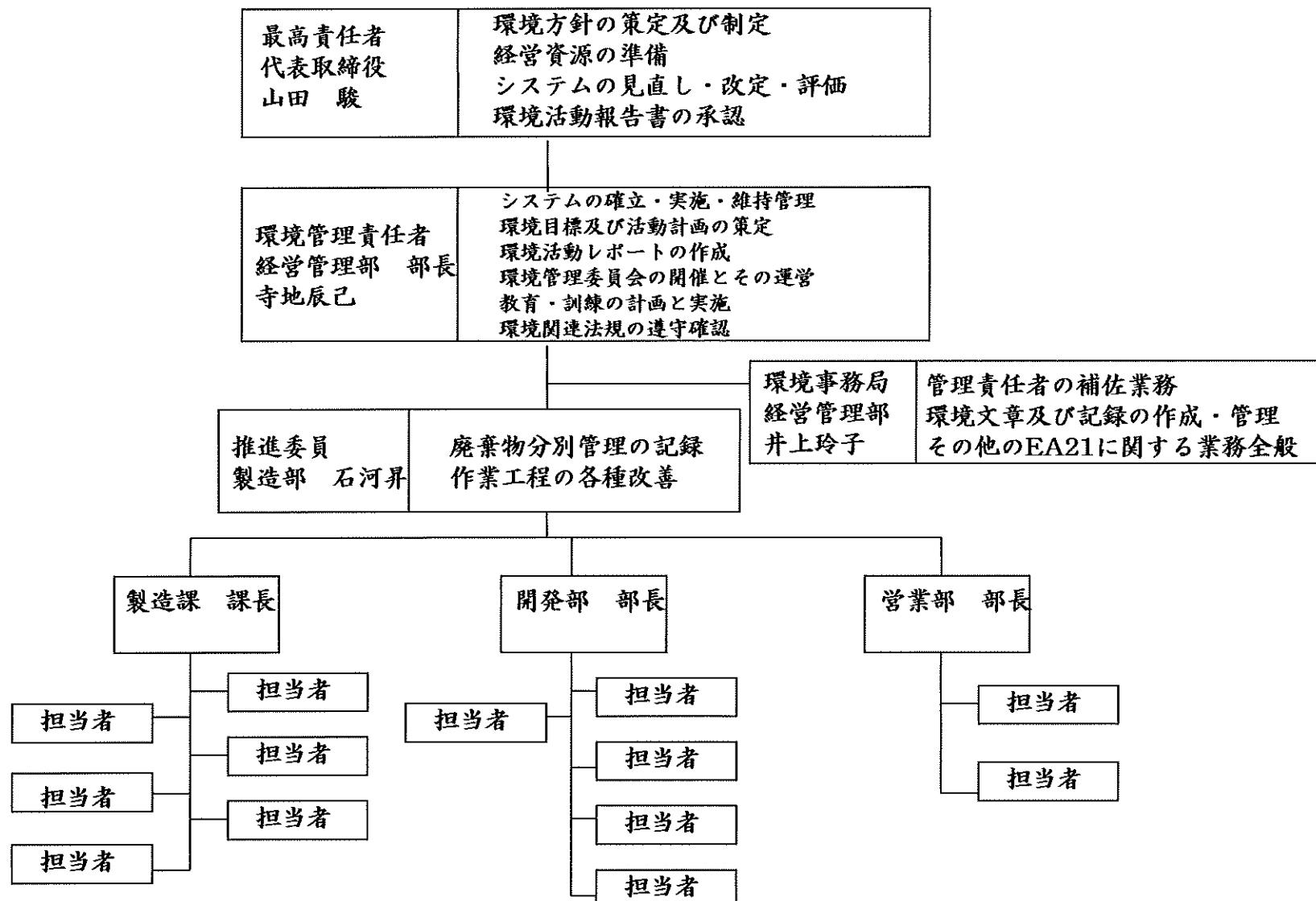
(4) 事業内容

遠隔電源制御機器の開発・製造・販売
特殊ハード製品の開発・製造・販売
ソフトウェアの受託開発

(5) 事業規模

| | |
|------|--------------------|
| 創立 | 平成 2 年 |
| 設立 | 平成 2 年 |
| 資本金 | 3 0 0 0 万円 |
| 年商 | 230 百万円 (平成 23 年度) |
| 従業員 | 18 名 (パート含む) |
| 延床面積 | 149 m ² |

(6) Eco Action21 推進組織図



2. 対象範囲

(1) 登録範囲

遠隔電源制御機器の開発・製造および販売

(2) レポートの対象期間

2011年10月1日より 2012年9月30日まで

(3) 発行日

2012/11/8

3. 環境方針

<基本理念>

明京電機株式会社は主たる遠隔電源制御製品の開発・製造・販売において「環境貢献を最優先」に促進し、地域社会に貢献するよう全従業員参加の下、継続的改善活動の実施に努めます。

<活動方針>

1. 「環境汚染の予防と環境保全活動」を実行し、法令順守に努めます。
2. 電力、水等の資源を大切に使い、二酸化炭素の削減および水資源の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクル化に努めます。
4. 化学物質についてはその維持管理に努めます。
5. 提供する製品サービスについては環境に配慮した製品を供給することに努めます。
6. グリーン購入については環境に配慮した資材購入に努めます。
7. 環境方針について全従業員に周知し、環境意識の高揚に努めます。

2011年1月25日

明京電機株式会社

代表取締役 山田 駿



4. 環境目標

| | | 22期実績 | 22期目標 | 23期目標 | 24期目標 |
|-------|----------------------|----------------------|--|------------------------------------|-----------------------------|
| | | 2011年10月 ～2012年9月 | 2011年10月～ 2012年9月 | 2012年10月～ 2013年9月 | 2013年10月～ 2014年9月 |
| 二酸化炭素 | 電力(KWh) | 17,686 | 20期同期間対比 10%削減目安 | 22期同期間対比 同等目安(17,686) | 22期同期間対比 同等目安 |
| | 灯油(L) | 0 | | | |
| | ガソリン(L) | 387 | 20期同期間対比 10%削減目安 | 22期同期間対比 同等目安(387) | 22期同期間対比 同等目安 |
| | 二酸化炭素(kg) | 8,416 係数 0.425 | 20期同期間対比 10%削減 (13,059.0) 係数0.425 | 22期同期間対比 同等目安(8,416) 係数0.425 | 22期同期間対比 同等目安 係数0.425 |
| 水 | 上水(m ³) | 108 | 20期同期間対比 3%削減 (133.86) | 22期同期間対比 同等目安(108) | 22期同期間対比 同等目安 |
| | 下水 (m ³) | 108 | 20期同期間対比 3%削減 (133.86) | 22期同期間対比 同等目安(108) | 22期同期間対比 同等目安 |
| 資源 | 購入品の削減 再生紙 (kg) | 307 | 20期同期間対比 3%削減 (310.4) | 22期同期間対比 同等目安(307) | 22期同期間対比 同等目安 |
| | 梱包材 (kg) | 1,918.00 | 20期同期間対比 3%削減 (2,165.53) | 22期同期間対比 同等目安(1,918) | 22期同期間対比 同等目安 |
| | グリーン購入の推進 | 100%購入 | 100%購入 | 100%購入 | 100%購入 |
| 廃棄物 | ごみ削減 (kg) | 1,805 | データ計測後 削減目標別途設定 | 22期実績対比 7%削減目安 (1,679) | 22期実績比 10%削減目安 (1,625) |
| 環境保全 | R o H S 指令 | 100%遵守 | 100%遵守 | 100%遵守を徹底し環境に配慮した製品の提供を推進 | 100%遵守を徹底し環境に配慮した製品の提供を推進 |

注記：二酸化炭素排出係数は環境省が平成20年12月19日に公表した報道発表資料の中の東京電力の値をその計算出所としています。

5. 環境活動計画

22期の結果を顧みて23期の環境活動計画を以下の通り設定することとした。

| | | 活動計画 | 担当 | 日程 |
|-------|--------------------|---------------------------------------|--------------|----------------|
| 二酸化炭素 | 電力(KWh) | ①定期的な消灯 各部署にて時間を定めて消灯を実施 | 1F井上 2F渡邊 | 随時 |
| | | ②冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。（室温20℃目処） | 全員 | 随時 |
| | | 夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。（室温28℃目処） | 全員 | 随時 |
| | | ③PC電源を未使用時、OFFにすることを励行。 | 全員 | 随時 |
| | | ④コピー機の省エネ使用 | 全員 | 随時 |
| | 灯油(L) | 外気温度10度以下の時に原則ヒーター使用。 | 渡邊 | 随時 |
| | ガス | 外気温度10度以下の時に原則ヒーター使用。 | 山口 | 随時 |
| | ガソリン(L) | 外出は極力公共機関を使用。 | 全員 | 随時 |
| | 二酸化炭素(kg) | 一 | 一 | 一 |
| 水 | 上水(m³) | ①無駄のない水使用励行 | 全員 | 随時 |
| | 下水 (m³) | ①トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底 | 全員 | 随時 |
| 資源 | 購入品の削減 再生紙 (kg) | ①両面コピー励行 | 全員 | 随時 |
| | | ②不必要なFAXのコピー化削減 | 全員 | 随時 |
| | | ③再生紙を100%使用 | 井上 | 随時 |
| | 梱包材 (kg) | ①リユースを考慮した梱包材使用推進 ②使用実績を取ることを習慣化する | 渡邊 | 随時 |
| | グリーン購入の推進 | 環境対応商品マーク（エコマーク）の付いた商品を購入する | 井上 | 随時 |
| 廃棄物 | ごみ削減 (kg) | リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。 | 1F井上 2F渡邊 | 随時 |
| 環境保全 | RoHS指令 | ①現行のRoHS対応部品を購入することを継続する。 | 山口 | 随時 |
| | | ②新製品のRoHS対応はすべて100%対応とする。 | 山口 | 随時 |
| | 災害訓練の実施 | 年2回、社内における災害訓練を実施する。 | 寺地 | 25年3月 25年8月 |

6. 環境目標の実績

(1)環境目標の実績

22期（2011年10月から2012年9月まで）の期間目標に対して、その目標が達成出来た場合には○、目標の達成が出来なった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×。

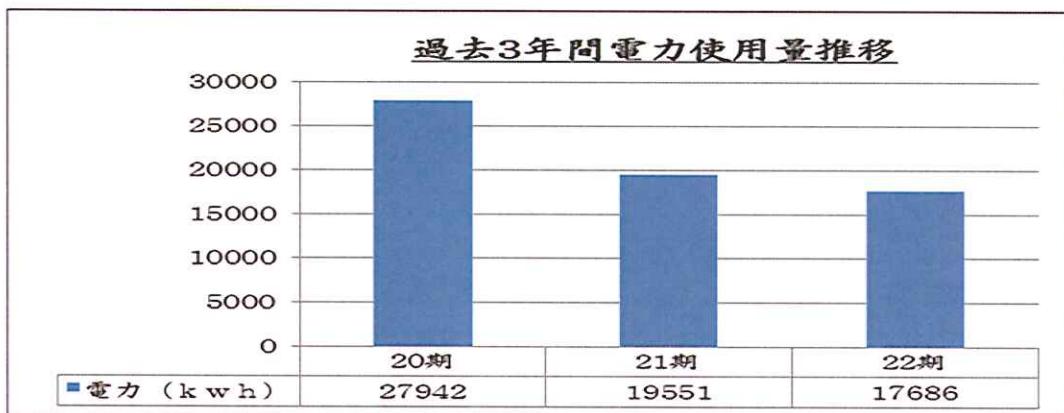
| | | 20期実績 | 22期目標 | 22期実績 | |
|-----------------------|----------------------|-----------------------|---|------------------------|----|
| | | 2010年2月 ～2010年9月実績 | 2011年10月 ～2012年9月目標 | 2011年10月 ～2012年9月実績 | 結果 |
| 二 酸 化 炭 素 | 電力(KWh) | 20,008 | 20期同期間対比 10%削減目安 | 17,686 | ○ |
| | 灯油(L) | | | | |
| | ガソリン(L) | 667 | 20期同期間対比 10%削減目安 | 387 | ○ |
| | 二酸化炭素(kg) | 10,051 係数 0.425 | 20期同期間対比 10%削減 (13059.0) 係数0.425 | 8,416 係数 0.425 | ○ |
| 水 | 上水(m ³) | 85 | 20期同期間対比 3%削減 (133.86) | 108 | ○ |
| | 下水 (m ³) | 85 | 20期同期間対比 3%削減 (133.86) | 108 | ○ |
| 資源 | 購入品の削減 再生紙 (kg) | 236 | 20期同期間対比 3%削減 (310.4) | 307 | ○ |
| | 梱包材 (kg) | 1,554 | 20期同期間対比 3%削減 (2,165.53) | 1,918 | ○ |
| | グリーン購入の推進 | 未測定 | 100%購入 | 100%購入 | ○ |
| 廃棄物 | ごみ削減 (kg) | 未測定 | データ計測後 削減目標別途設定 | 1,805 | - |
| 環境保全 | R o H S 指令 | 100%遵守 | 100%遵守 | 100%遵守 | ○ |

注： 弊社における経営年
20期
21期
22期

2009/10～2010/9
2010/10～2011/9
2011/10～2012/9

(2) 統計から見た取り組みの実績

<電力使用量>

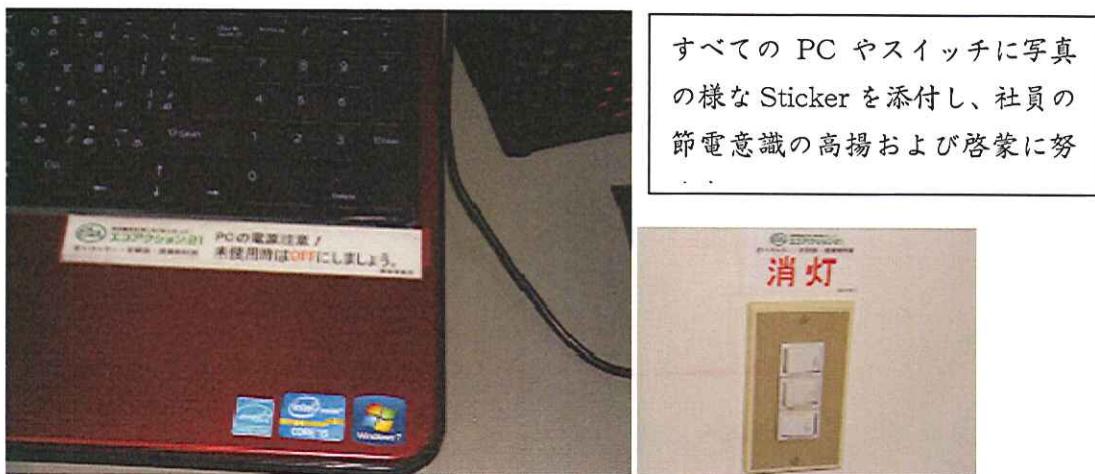


厳暑により事務所内における冷房効果がないことで2012年8月に日除けテントの設置を行った。これにより冷房効率を高めることができ、結果として節電に繋がった。

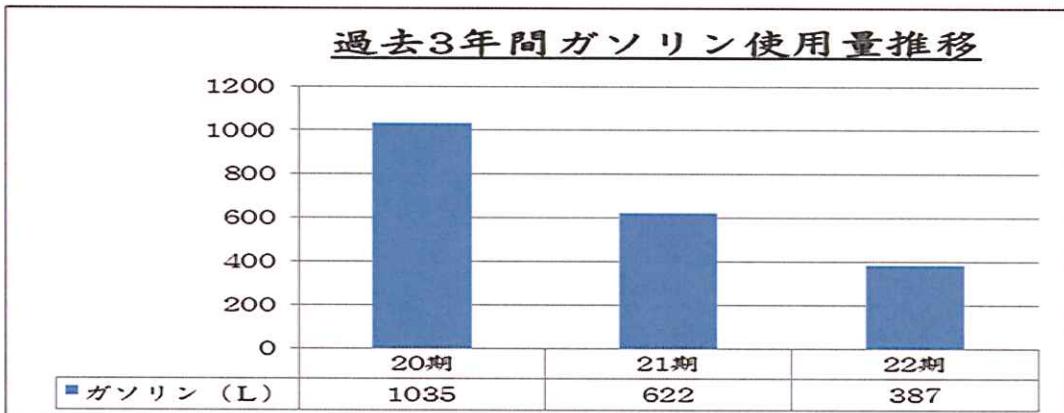


事務所内の蛍光灯を全灯から半減することを励行することで節電効果を上げることに努めた。

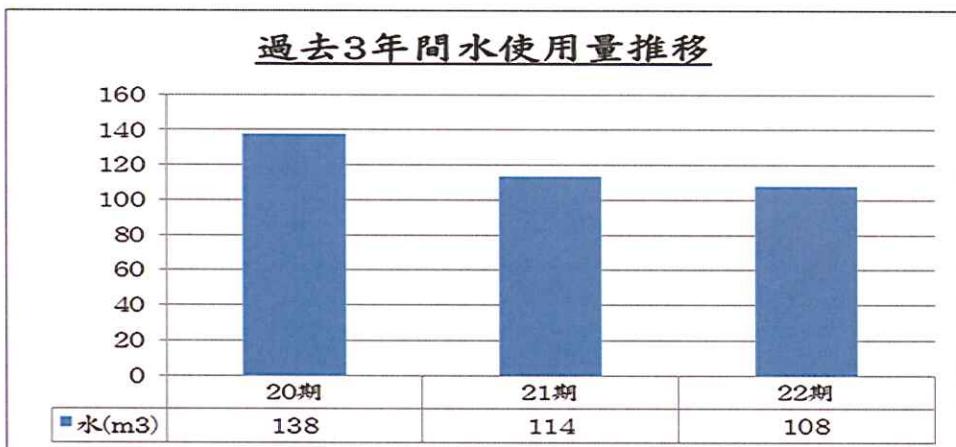
9/15....



<ガソリン使用量>



<水使用量>

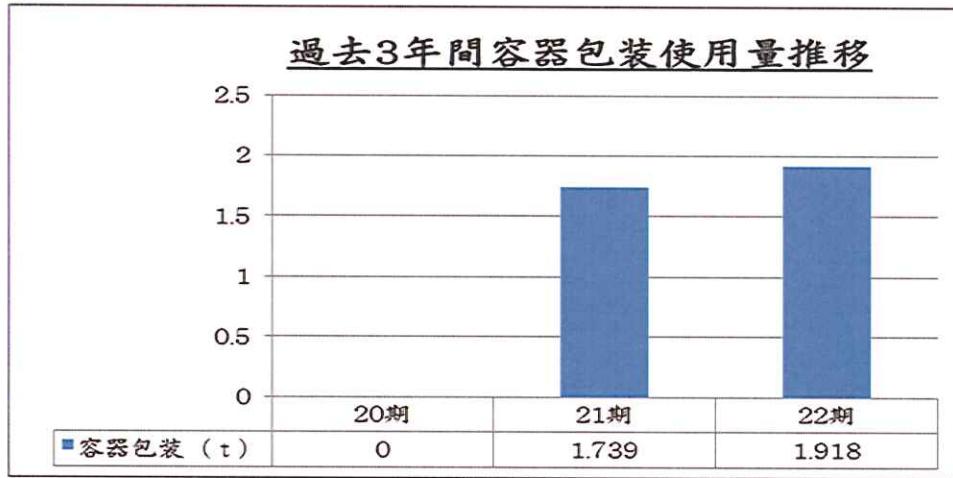


10/15...



トイレの水の節約の目的でタンクの中にペットボトルを投入し節水に努めた。

<梱包材使用量>



(3) 環境活動における社員の声

(営業部社員・男性)

蛍光灯の間引き点灯、PCの休憩時の電源OFFの励行等を通して、節電・節約の意識向上が自分自身の中で芽生えてきた。

(製造部パート・女性)

エアー・セーブ・カーテンの取り付けによって、作業所の冷房効果（夏場）および温暖効果（冬場）を大幅に向上することが出来て、作業がはかどっている。

(製造部社員・男性)

従来余分な段ボールが発生し廃棄していたが、仕入先との調整を図りリユースに合意してもらったことで、ごみの削減に大幅に貢献している。今後もアイデアを出し合って、ごみ削減に努力したいと思う。

(製造部パート・女性)

ペットボトルや空き缶を自治体で引き取ってエコポイント入手する等のやり方を導入したらどうか検討してもらいたい。

(製造部パート・女性)

ごみの分別を普段から心がけるように自分の中で習慣化してきた。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価

(1) 22期（2011年10月から2012年9月まで）の評価

丸1年の経営年度を通して、Eco Action21を会社全体として推進でき、Eco Action21そのものを理解でき本当に有意義な1年でした。一人一人の社員の間にも活動の趣旨が浸透し、各々のSectionで小活動が芽生えてくるようになりました。 どうすれば二酸化炭素の削減に繋がるのかのか、個人レベルでの意識改革が内部から起こっていることに成果を感じています。

*電力使用量の削減は、弊社20期との比較で10%削減を目指していましたが、比較する年度がわずか8ヶ月だったにもかかわらず大幅な改善を見ています。これは事務所の蛍光灯を全灯していたものを1/2に減らし使用するといった対策を講じたこと、またトイレの照明をLEDランプに交換したこと等による効果でした。前年同様厳しい暑さの夏にも対策を講じ、窓際にテントを設営して断熱効果を図りました。電力の消費量が減少したおかげで経費の削減にも大いに貢献しています。

*ガソリンの使用量の減少は社用車による外出を極力避け、公の交通機関を使用することを励行したことによります。

*上下水道の使用に関しては節水ゴマやトイレの貯水槽にペットボトルを置くことで、その使用量の減少に努めました。

*再生紙の購入削減についても一定の効果がみられています。両面コピーの推進がその一例です。

*梱包材の使用に関しても当初の目標は達成していますが、生産数量が伸びることによってその消費量が増えてきます。この部分に関しては対策を講じていかねばと考慮します。

*ごみの削減ですが、ようやく1年を通してデータ取集が終わりました。今後は目標設定をして削減に努力する計画です。その中で、社内で出たごみを業者に逆に買っていただくことができないか、その資源の有効活用にも目を向けてまいりたいと思います。

(2) 次年度 23 期（2012 年 10 月～2013 年 9 月）までの取組内容

| | | 2012 年 10 月～2013 年 9 月目標 | 活動内容 |
|-------|-------------------|--------------------------------------|---|
| 二酸化炭素 | 電力(KWh) | 22 期同期間対比 同等目安 (17,686) | ① 定期消灯：各部署にて時間を決めて消灯を実施。 ② 夏：エアコンの温度を下げすぎない。 ③ 冬：エアコンの温度を上げすぎない。 ④ P C：未使用時 off にすることを励行。 ⑤ コピー機：省エネ使用励行。 |
| | 灯油 (L) | | |
| | ガソリン (L) | 22 期同期間対比 同等目安(387) | 外出は極力公共機関を使用。 |
| | 二酸化炭素(kg) | 22 期同期間対比 同等目安(8,416) 係数 0.425 | |
| 水 | 上水(m3) | 22 期同期間対比 同等目安(108) | ① 無駄の無い水使用の励行。 |
| | 下水(m3) | 22 期同期間対比 同等目安(108) | ① トイレ使用時洗浄レバー使用徹底。 |
| 資源 | 購入品の削減 再生紙(kg) | 22 期同期間対比 同等目安(307) | ① 両面コピーの励行。 ② 不必要な FAX のコピー化削減 ③ 再生紙の 100% 使用。 |
| | 梱包材(kg) | 22 期同期間対比 同等目安(1,918) | 使用実績を取ることの習慣化。 |
| | グリーン購入の推進 | 100% 購入 | 環境対応商品マーク(エコマーク)の付いた商品を購入する。 |
| 廃棄 | ごみ削減(kg) | 22 期実績対比 7 % 削減目安 (1,679) | リサイクル・リユース・リデュースの推進 |
| 環境保全 | RoHS 指令 | 100% 遵守を徹底し 環境に配慮した製品の提供を推進 | ① 現行 RoHS 対応部品の購入継続。 ② 新製品導入時すべて 100% RoHS 対応とする。 |

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

| | |
|-------------------------|----|
| ●都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 | 遵守 |
| ●廃棄物の処理および清掃に関する法律（廃掃法） | 遵守 |
| ●家電リサイクル法 | 遵守 |
| ●RoHS 指令 | 遵守 |

法規制違反の指摘および訴訟の請求は過去3年以上ありません。

また地域住民等からの苦情は過去3年以上ありません。

苦情受付窓口は 寺地辰己

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2011年6月にEco Action21の認証をいただき、今回の報告書からようやく1年間を通した活動の結果を見る事ができ、我社でもこの取組が根付いてきたことを感じる。その顕著な部分は、社員一人一人の認識に変化が起きていること、例えば製造の現場におけるテーマを持った小活動の実施をあげることができる。5S活動と銘打って、整理、整頓、清潔、清掃、躰がそれにあたるが、それらを行うことによってごみの分別を行い、納入先からの部品梱包をリサイクルできるものに変え、ごみの削減につなげようとしている。非常に評価できる。

電力の使用量に関しても2012年の夏は厳しい暑さだったが、目標管理に努めた結果、それをクリアできている。施策として事務所に差し込む日差しが厳しいため冷房効率が非常に悪い状況が続いていたが、日よけテントを設置することでその改善を図ったことで全体として経費削減にもつながっている。

22期の結果を踏まえ、23期目標を22期同等に設定することとする。ただし、ごみ削減については22期でデータ収集が終了したこともあり、22期に対して7%の削減を目標とすることとした。

次回の環境活動レポートは2013年10月30日頃の発行を予定しています。

2012年11月8日
代表取締役 山田 駿